

大雨のシーズンに備えて、自宅も災害対策しませんか

風水害に備える

雨や風が強くなってからの対策は危険です。日頃から家屋の点検をしておきましょう。

●屋根や壁の改修に住宅リフォーム助成を活用できます

区内に本社のある中小事業者に工事を発注する場合、工事費用の一部を助成します。
 ※工事開始前に仮申請の手続きが必要です
 ▶問合先 住宅相談窓口(建築調整課住宅担当内)
 ☎5744-1343 FAX5744-1558



詳細はコチラ

浸水を軽減するための工事費の一部を助成します

浸水防止には、雨水を一時的に貯める雨水タンクや地下にしみ込ませる雨水浸透施設が有効です。雨水を有効利用することは環境保全にもつながります。

●雨水タンク設置助成

▶小型タンク(500ℓ未満)を設置する場合の助成額
 個人=(本体価格+設置工事費)×2/3
 その他=(本体価格+設置工事費)×1/2
 ▶助成限度額 1基4万円(1敷地2基まで)
 ※大型タンク(500ℓ以上)の助成も有り
 ※売買を目的とした建物や住民税などを滞納している場合は対象外
 ★電子申請でも申し込みます(大型タンク、法人を除く)



詳細はコチラ

●雨水浸透施設設置助成

▶助成対象地域 埋立地以外の区内全域(急傾斜地、隣地と段差のあるところ、地下水位の高い場所などには適しません)
 ※「大田区開発指導要綱」の適用を受ける建築物や、住民税などを滞納している場合は対象外
 ▶助成額 実際にかかった対象工種の工事費合計額(1件最大40万円)



詳細はコチラ

●私道排水設備助成

▶助成対象地域 区内全域の建築基準法第42条に規定する公道以外の道路
 ※1項5号道路は申請図どおりに復元できる場合に限る
 ▶助成額 区が定める標準工事費の額
 ▶問合先 建築調整課地域道路整備担当
 ☎5744-1308 FAX5744-1558

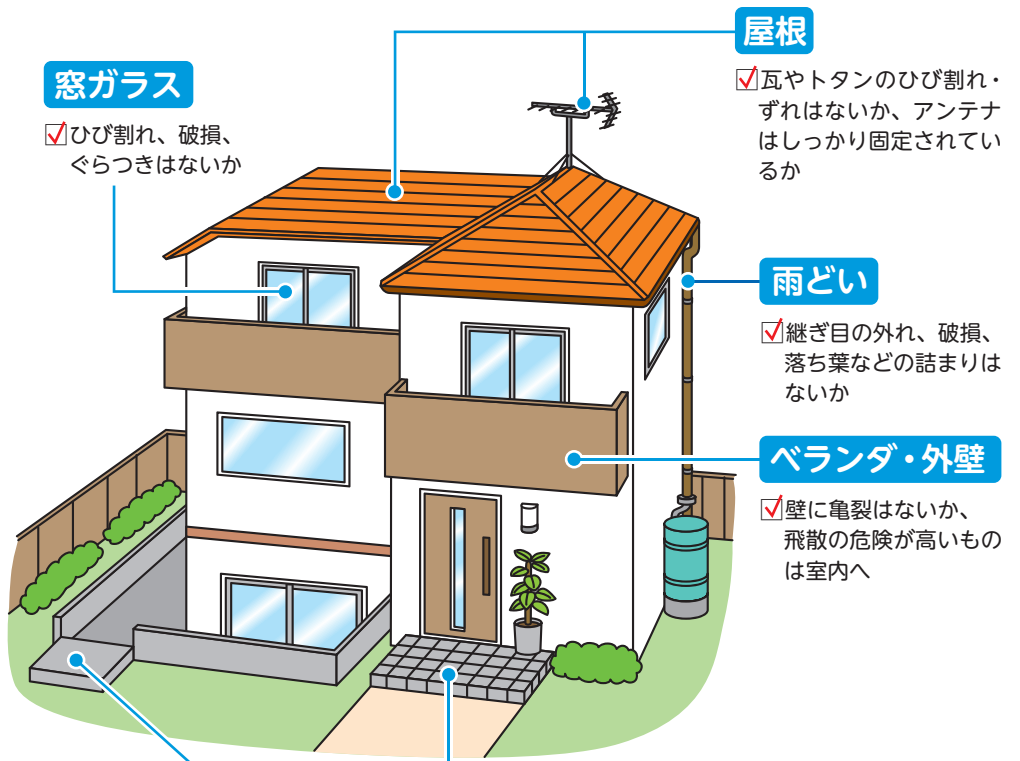


詳細はコチラ

がけ崩れのリスクに備える

がけ・擁壁の所有者や管理者は、がけ崩れが起こらないように日頃から点検や整備をしましょう。がけなどの整備工事に向けて、アドバイザーを派遣する制度を設けました。まずはご相談ください。

▶問合先 がけや擁壁の相談について=建築審査課構造審査担当 ☎5744-1389 FAX5744-1557
 整備工事の助成・アドバイザー派遣制度について=防災まちづくり課耐震改修担当 ☎5744-1349 FAX5744-1526



窓ガラス
ひび割れ、破損、ぐらつきはないか

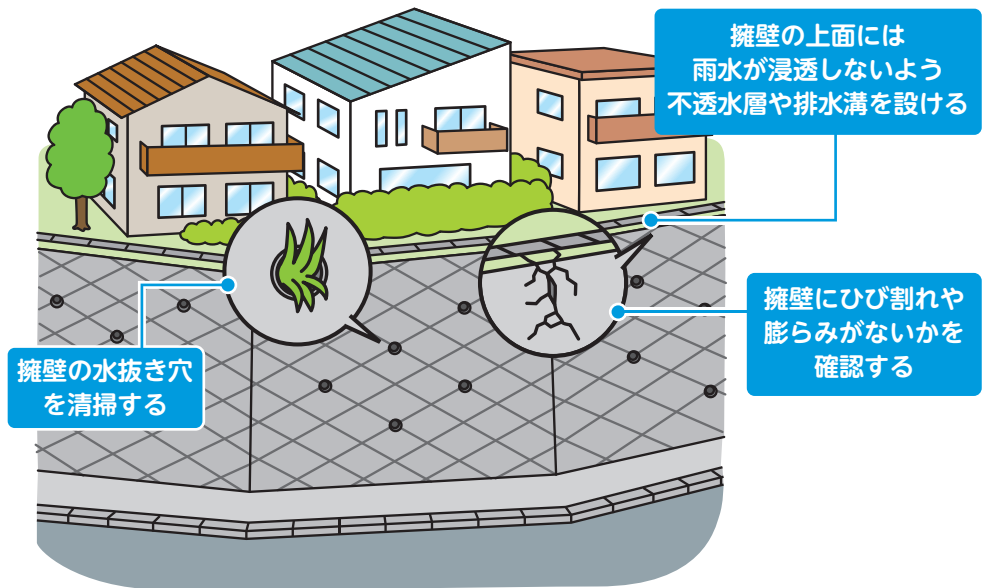
屋根
瓦やトタンのひび割れ・ずれはないか、アンテナはしっかり固定されているか

雨どい
継ぎ目の外れ、破損、落ち葉などの詰まりはないか

ベランダ・外壁
壁に亀裂はないか、飛散の危険が高いものは室内へ

敷地が低い場合や地下室、半地下の浸水防止

- 半地下や地下の玄関には、道路面より少し高く階段を設ける、止水板を設置する
 - 地下室の電源コンセントは壁の高い位置に配置する、地下室専用の分電盤を設ける
 - 地下室、半地下、道路より低い敷地からの排水は、ポンプ設備を設ける
- ▶問合先 建築審査課建築審査担当 ☎5744-1388 FAX5744-1557



擁壁の水抜き穴を清掃する

擁壁の上には雨水が浸透しないよう不透水層や排水溝を設ける

擁壁にひび割れや膨らみがないかを確認する

●がけや擁壁の整備工事・アドバイザー派遣について

詳細は区HPをご覧ください。

詳細は



インフォメーション

区の世帯と人口

令和5年5月1日現在

- 世帯数…408,155世帯
- 総人口…732,996人
 日本人人口…706,909人(男…351,591人 女…355,318人)
 外国人人口…26,087人(男…12,619人 女…13,468人)
- 面積…61.86km²

11ch 大田区広報番組 6月

シティーニュース おおた 大田区プレミアム付デジタル商品券

ユニークおおた 銭湯特集「久が原湯」

●放送 ケーブルテレビのJ:COMチャンネル 大田とiTSCOMで毎日放送! YouTubeでも発信しています。



▲YouTube

●●● 今月の区報は ●●●

6月11日号 特集 大田区プレミアム付デジタル商品券

6月21日号 特集 夏の節電対策

11日号・21日号は新聞折込か駅広報スタンド、区施設、公衆浴場、セブンイレブンで配布。配送サービス(外出困難などの要件有り)も行っています。

大田区学クイズに挑戦!

3面の答え「クスノキ」



クスノキは常緑の葉が陽光に美しく映え、成長も早く、たくましい樹形は風格があることから、昭和51(1976)年に大田区の木に制定されました。



▲詳細はコチラ



西蒲田公園にあるクスノキ

みんなで実践!蚊の発生源対策

蚊に刺されても、かゆくなるだけだと思いませんか?ウイルスを保有する蚊に刺されると、デング熱、日本脳炎などの病気に感染する可能性があります。感染リスクを低くするためには、一人ひとりが協力して蚊の発生防止に努めることが大切です。



蚊の幼虫(ボウフラ)は、水中で成長するので、不要な水たまりを作らないことが大切です。

蚊の発生源対策

- ①水がたまりやすいバケツ、空き瓶などの不要なものは片付けましょう
- ②古タイヤなどのたまり水をなくしましょう
- ③植木鉢の受け皿などは、週1回、清掃や水の交換などを行いましょ

▶問合先 生活衛生課環境衛生担当
 ☎5764-0694 FAX5764-0711

▲詳細はコチラ